

【適地・適期栽培と栽培環境】

1-1

野菜の周年栽培に関する記述の中で、正しいものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- ① 半促成栽培は、促成栽培よりさらに早く収穫を開始する作型である。
- ② キュウリは、露地栽培・半促成栽培・促成栽培・抑制栽培を組み合わせる周年栽培されている。
- ③ ピーマンは、主に品種選択による春播き栽培、夏播き栽培および秋播き栽培が行われ、周年供給がされている。

解答

②

解説

- ① × 半促成栽培は、促成栽培より収穫が遅い。

野菜などの栽培において、自然条件とは異なる時期に栽培するための条件や技術の組み合わせを「作型」と呼ぶ。作型には、「品種選択型」と「環境制御型」がある。

作型	内容
品種選択型	春播き栽培、夏播き栽培、秋播き栽培など
環境制御型	普通栽培（露地栽培）、早熟栽培、促成栽培、半促成栽培、抑制栽培など

促成栽培は、保温や加湿による温度管理（ビニールハウスや温室など）を行い、早く収穫する方法である。半促成栽培は、一時的に保温や加湿をする方法であり、普通栽培（露地栽培）よりは早いですが、促成栽培よりは遅いタイミングでの収穫となる。

- ② ○ **キュウリ**やピーマンなどは、露地栽培・半促成栽培・促成栽培・抑制栽培を組み合わせて、周年栽培されている。

野菜などの栽培において、自然条件とは異なる時期に栽培するための条件や技術の組み合わせを「**作型**」と呼ぶ。作型には、「**品種選択型**」と「**環境制御型**」がある。

作型	内容	対象
品種選択型	春播き栽培、夏播き栽培、秋播き栽培など	キャベツ・ダイコンなど
環境制御型	普通栽培（露地栽培）、早熟栽培、促成栽培、半促成栽培、抑制栽培など	キュウリ・ピーマンなど

作型によって、行われる地域や播種時期、収穫時期が変わる。
 （条件をバラすことで、常にどこかで収穫できるようにしている）

- ③ × **ピーマン**は、品種選択型ではなく、露地栽培や促成栽培などの環境制御型によって周年供給されている。

周年供給するための作型としては、「**環境制御型**」と、「**品種選択**」がある。
 主に品種選択によって周年供給されているものには、**キャベツ**や**ダイコン**がある。

作型	内容	対象
品種選択型	春播き栽培、夏播き栽培、秋播き栽培など	キャベツ・ダイコンなど
環境制御型	普通栽培（露地栽培）、早熟栽培、促成栽培、半促成栽培、抑制栽培など	キュウリ・ピーマンなど

【作物の生育と土壌の役割】

1-2

土壌の団粒構造形成に関する記述の中で、正しいものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- ① 団粒構造は、主として植物の根によって形成される。
- ② 団粒構造は、主として耕耘によって形成される。
- ③ 団粒構造は、主として微生物によって形成される。

解答

③

解説

③ ○ 団粒構造は、主として微生物によって形成される。

団粒構造とは、土壌粒子（粘土や腐植）が結合して集合体を作ったものである。

小さな集合体は、さらに集まって大きな集合体を作る。これにより、土壌の中に大中小の孔隙が生まれる。これは、植物の根も一部関わるが、主には土壌生物・微生物の働きによって作られる。

微生物が有機物を分解する際に、分泌物を出し、これが接着剤の役割をする。

